



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 URL <https://www.scroll.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 堀田 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	19,333	1.0	1,134	△0.3	1,191	4.4	792	5.4
2019年3月期第1四半期	19,140	23.2	1,138	68.7	1,140	58.7	751	70.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 700百万円 (△8.5%) 2019年3月期第1四半期 765百万円 (43.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	23.11	ー
2019年3月期第1四半期	22.03	22.01

(注) 2019年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2019年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	45,006	21,719	48.2
2019年3月期	42,368	21,156	49.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 21,704百万円 2019年3月期 21,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	5.00	ー	5.00	10.00
2020年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2020年3月期 (予想)	ー	5.00	ー	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	37,500	3.1	950	△33.5	1,000	△29.8	650	△26.9	18.92
通期	75,000	5.4	1,900	11.9	2,000	41.3	1,300	105.9	37.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	34,818,050株	2019年3月期	34,818,050株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	458,780株	2019年3月期	545,280株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	34,285,594株	2019年3月期1Q	34,119,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は、2019年7月31日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、海外情勢の先行きに不安定感があるものの、堅調な企業業績や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。小売業界におきましては、今秋に予定されている消費税率引上げの影響は懸念されるものの、10連休効果による個人消費マインドの向上やインバウンド需要の拡大を背景に、消費全体は緩やかに持ち直す傾向が続いています。

このような事業環境のなか、当社グループは、市場及び環境変化へ柔軟に対応するため、中期経営計画を1年ごとに更新するローリング方式へと変更し、「収益力のあるDMC (Direct Marketing Conglomerate) 複合通販企業戦略の推進」を方針に掲げ、「個別事業の収益力のさらなる向上」及び「事業ポートフォリオの強化」をテーマにグループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高19,333百万円（前年同四半期比1.0%増）となりました。利益面におきましては、営業利益1,134百万円（同0.3%減）、経常利益1,191百万円（同4.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益792百万円（同5.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後の数値を、セグメント利益又は損失は、連結相殺消去前の数値を記載しております。

#### ① 通販事業

通販事業におきましては、DMC複合通販企業戦略を支える、さらなる収益力の強化を方針に掲げ、当社の創業80周年記念の特別企画の展開を行うとともに、お客様の声を生かした商品企画や売り場づくりに努めてまいりました。また、既存の商材に加え、海外ブランドバッグといった当社グループの資産を生かした新たな商材の販売にも取り組んでおります。

以上の結果、売上高は10,013百万円（前年同四半期比2.1%増）となり、セグメント利益は1,043百万円（同10.1%増）となりました。

#### ② eコマース事業

eコマース事業におきましては、カテゴリーNo.1戦略の推進とオリジナル商品企画の強化を方針としております。なかでも、キャンプブームが盛り上がりを見せるなかでアウトドア・フィッシング用品のECサイト『ナチュラルム』において、自社オリジナルブランド『Hilander (ハイランダー)』の商品企画開発と販売を強化し、魅力ある商品の展開を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は4,757百万円（同1.2%増）となり、セグメント利益は97百万円（同32.0%増）となりました。

#### ③ 化粧品事業

化粧品事業におきましては、グループ全体の事業ポートフォリオの観点から、投資育成事業として位置付け、収益構造の確立に向けた事業モデルの転換及び事業基盤の整備を進めております。このほか、中国や台湾の市場に向けたマーケティングにも取り組んでおります。

以上の結果、売上高は909百万円（同39.2%減）となり、セグメント損失は90百万円（前年同四半期はセグメント損失68百万円）となりました。

#### ④ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、「物流クライシス」が社会問題となるなか、通信販売事業者が抱える物流コストの削減や売上の拡大といった課題の解決に向け当社グループ独自のサービスを開発するなど、高付加価値のビジネスモデルへの転換を図り、成長する通販・EC市場において、複合的なソリューションサービスを提供しております。また、全国通販3PL戦略として、茨城県つくばみらい市への物流センター新設プロジェクトや、関西物流拠点の拡大など、全国を網羅する物流ネットワークの構築を推進しております。

以上の結果、売上高は3,438百万円（前年同四半期比16.2%増）となり、セグメント利益は86百万円（同48.4%減）となりました。

⑤ 旅行事業

旅行事業におきましては、事業ポートフォリオを見直し、主力であるバスツアーの販売に加え、増加が見込まれる訪日外国人をターゲットとしたツアーの取扱いの拡大に向け、グループや提携先などを活用した販路の開拓に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は205百万円（同20.7%増）となり、セグメント損失は10百万円（前年同四半期はセグメント損失36百万円）となりました。

⑥ 海外事業

海外事業におきましては、中国やASEAN市場において、当社グループのノウハウや実績を生かし、日本製商品の販売や訪日外国人旅行者向けのサービスの提供といったビジネスモデルの構築をめざし、現地での市場調査や営業活動を進めております。

以上の結果、売上高は5百万円（前年同四半期比480.7%増）となり、セグメント損失は16百万円（前年同四半期はセグメント損失5百万円）となりました。

⑦ グループ管轄事業

グループ管轄事業におきましては、当社グループの物流オペレーションや自社保有物流施設等の不動産賃貸を行っております。

以上の結果、売上高は2百万円（前年同四半期比1.0%減）となり、セグメント利益は76百万円（同157.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は45,006百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,638百万円増加いたしました。この主な要因は、売上高の増加に伴う売掛金の増加、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の増加によるものであります。

(負債)

負債は23,286百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,075百万円増加いたしました。この主な要因は、有形固定資産の取得等に伴う未払金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は21,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ563百万円増加し、自己資本比率は48.2%（前連結会計年度末は49.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,473	3,373
売掛金	10,259	12,777
たな卸資産	8,372	9,443
その他	3,464	3,599
貸倒引当金	△241	△242
流動資産合計	27,328	28,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,148	4,087
土地	5,520	5,520
その他(純額)	849	2,076
有形固定資産合計	10,518	11,684
無形固定資産		
のれん	938	882
その他	921	919
無形固定資産合計	1,859	1,802
投資その他の資産		
その他	2,870	2,782
貸倒引当金	△209	△213
投資その他の資産合計	2,661	2,568
固定資産合計	15,040	16,055
資産合計	42,368	45,006
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,069	2,905
短期借入金	100	100
未払金	10,271	13,044
未払法人税等	554	273
引当金	269	159
その他	1,057	911
流動負債合計	15,323	17,394
固定負債		
長期借入金	4,544	4,519
引当金	117	112
退職給付に係る負債	1,122	1,157
その他	103	102
固定負債合計	5,888	5,892
負債合計	21,211	23,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,005	6,005
資本剰余金	6,657	6,657
利益剰余金	8,304	8,923
自己株式	△263	△230
株主資本合計	20,702	21,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	404	367
繰延ヘッジ損益	27	△29
為替換算調整勘定	9	11
その他の包括利益累計額合計	440	348
新株予約権	13	15
純資産合計	21,156	21,719
負債純資産合計	42,368	45,006

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	19,140	19,333
売上原価	11,885	12,020
売上総利益	7,255	7,312
販売費及び一般管理費	6,117	6,178
営業利益	1,138	1,134
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	23	20
為替差益	—	16
その他	19	23
営業外収益合計	46	65
営業外費用		
支払利息	4	5
その他	39	2
営業外費用合計	43	8
経常利益	1,140	1,191
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	4	7
特別損失合計	4	7
税金等調整前四半期純利益	1,135	1,184
法人税、住民税及び事業税	294	316
法人税等調整額	89	75
法人税等合計	384	391
四半期純利益	751	792
親会社株主に帰属する四半期純利益	751	792

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	751	792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32	△37
繰延ヘッジ損益	48	△56
為替換算調整勘定	△2	2
その他の包括利益合計	13	△92
四半期包括利益	765	700
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	765	700
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	通販事業	eコマース 事業	化粧品 事業	ソリュー ション 事業	旅行事業	海外事業	グループ 管轄事業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	9,811	4,699	1,497	2,959	170	1	2	19,140	—	19,140
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	24	△0	11	501	—	39	584	1,160	△1,160	—
計	9,835	4,699	1,508	3,460	170	40	587	20,301	△1,160	19,140
セグメント利益 又は損失(△)	947	73	△68	167	△36	△5	29	1,108	32	1,140

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益62百万円、セグメント間取引消去△30百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ソリューション事業」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社もしもの全株式を取得し、当社の連結子会社となったことから、のれん704百万円を計上いたしました。

なお、当該のれんの金額は、暫定的な会計処理の確定に伴う見直し反映後の金額であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント								調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	通販事業	e コマース 事業	化粧品 事業	ソリュー ション 事業	旅行事業	海外事業	グループ 管轄事業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	10,013	4,757	909	3,438	205	5	2	19,333	—	19,333
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	23	34	△3	565	0	68	637	1,325	△1,325	—
計	10,037	4,792	906	4,004	205	74	639	20,659	△1,325	19,333
セグメント利益 又は損失(△)	1,043	97	△90	86	△10	△16	76	1,185	5	1,191

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、未実現利益等5百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「e コマース事業」に含めておりました海外子会社1社について、社内マネジメント区分の変更に従い、当第1四半期連結会計期間より「海外事業」に含めて表示しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。